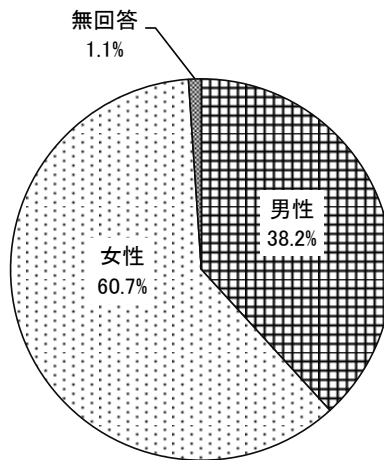


〔18歳以上40歳未満の男女〕

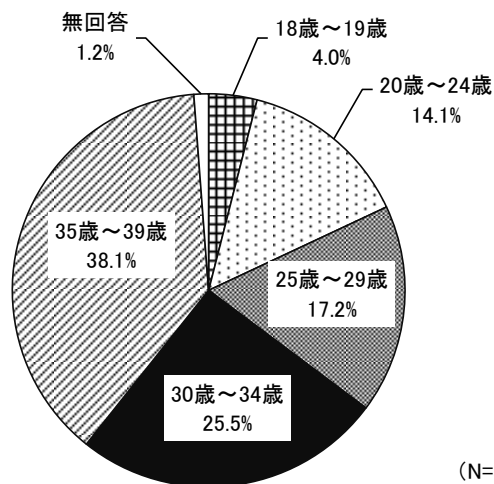
1. 回答者の属性

(1) 性別 (問1)



(N=832)

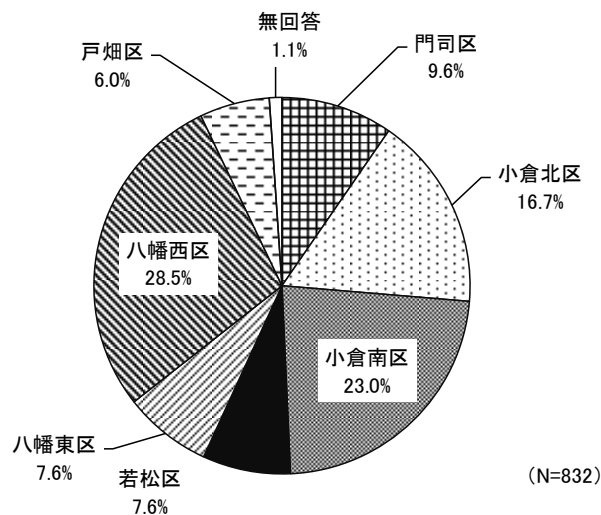
(2) 年齢 (問2)



(N=832)

* 平成25年4月1日現在

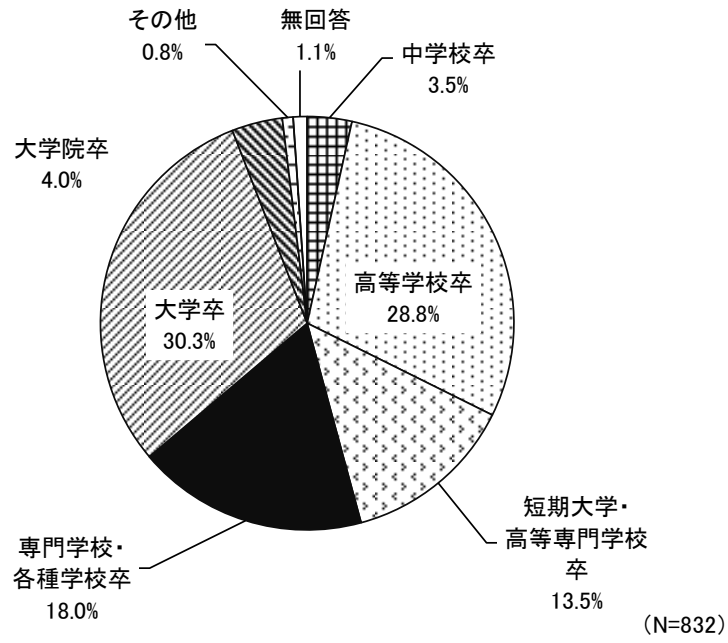
(3) 居住区 (問3)



(N=832)

【18歳以上40歳未満の男女】

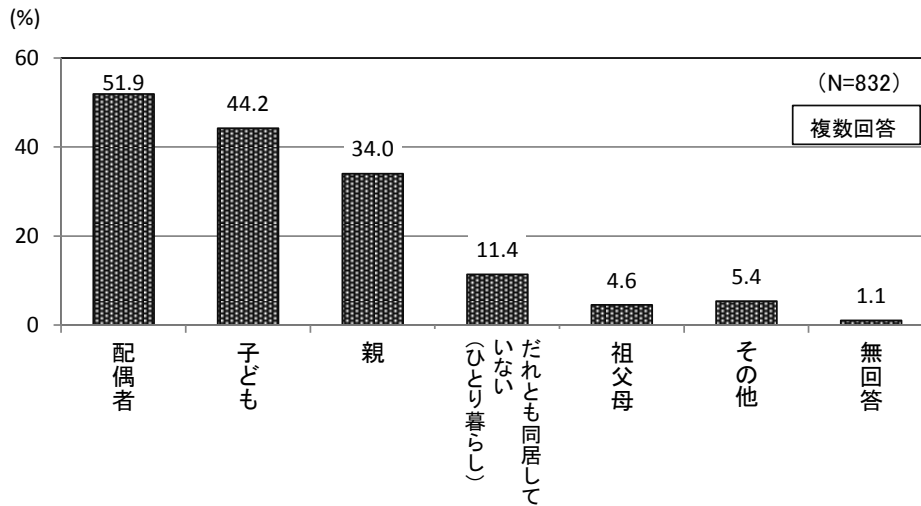
(4) 最終学歴 (問4)



2. 回答者の生活状況

(5) 同居の状況（問5）

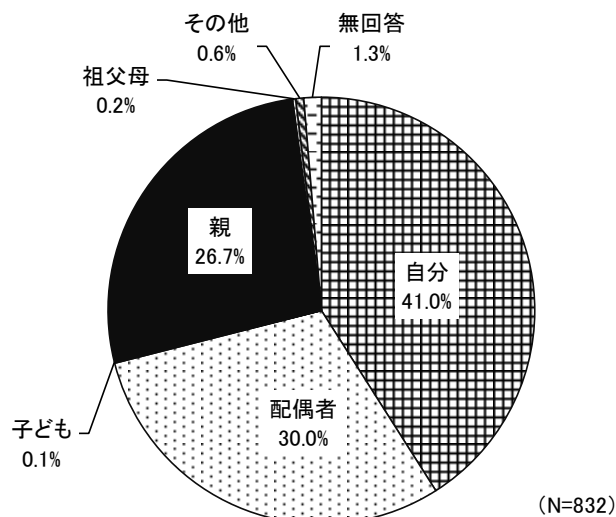
同居の状況は、「配偶者」が51.9%で最も高く、次いで「子ども」44.2%、「親」34.0%となっている。



(6) 生活費の担い手（問6）

生活費の担い手は、「自分」が30.0%、「親」26.7%となっている。

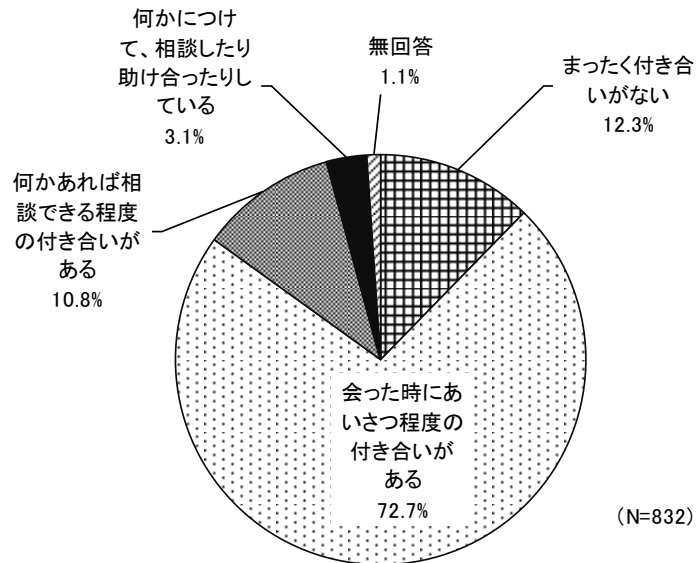
41.0%で最も高く、次いで「配偶者」



【18歳以上40歳未満の男女】

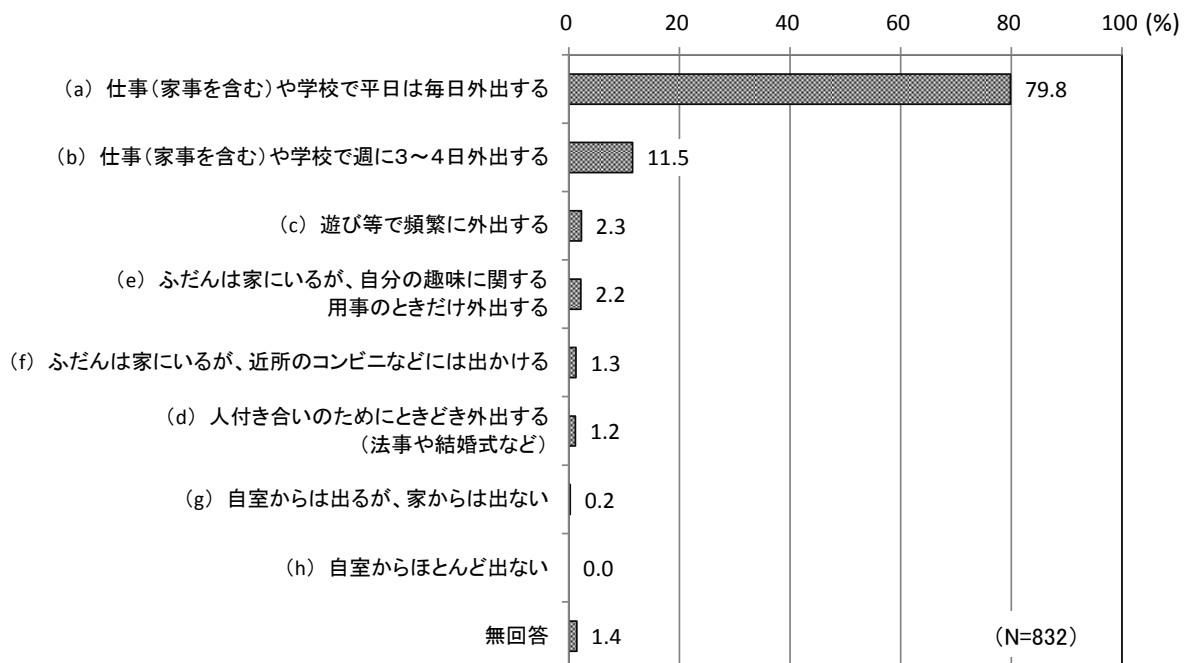
(7) 近所付き合いの状況 (問7)

近所付き合いの状況は、「会った時にあいさつ程度の付き合いがある」が72.7%で最も高く、次いで「まったく付き合いがない」12.3%、「何かあれば相談できる程度の付き合いがある」10.8%となっている。



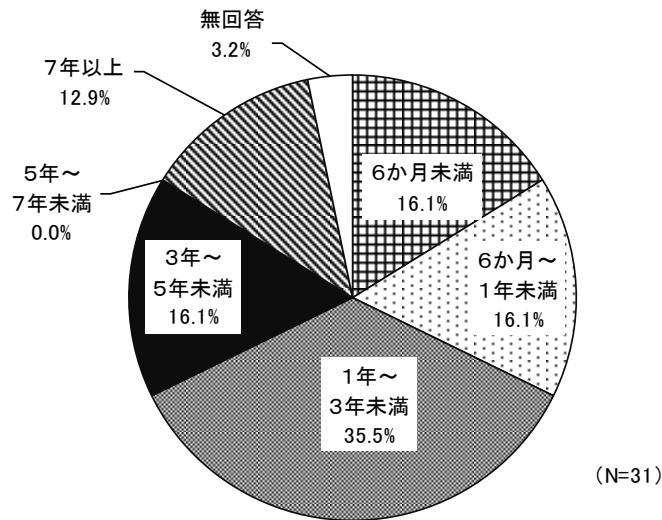
(8) 外出の頻度 (問8)

外出の頻度は、「仕事(家事を含む)や学校で平日は毎日外出する」が79.8%と特に高い割合を占め、次いで「仕事(家事を含む)や学校で週に3~4日外出する」11.5%となっている。



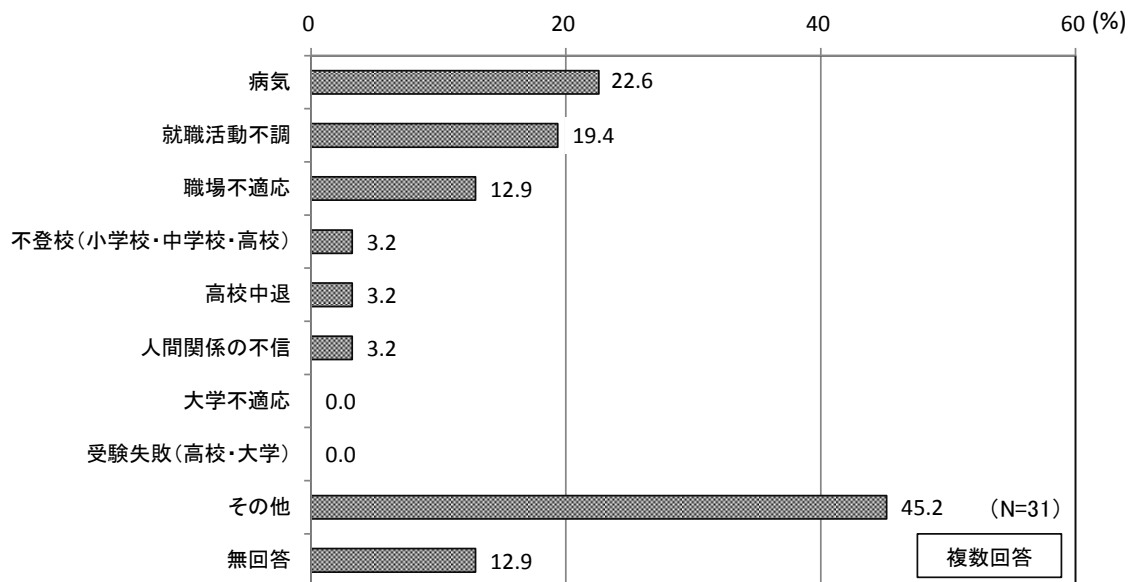
(9) 外出の頻度が少なくなってからの経過年月（問8-1）

(8) で(e) (f) (g) (h)と回答した人に、外出の頻度が少なくなってからの経過年月を尋ねたところ、「1年～3年未満」が35.5%で最も高く、次いで「6か月未満」「6か月～1年未満」「3年～5年未満」が同率で16.1%となっている。



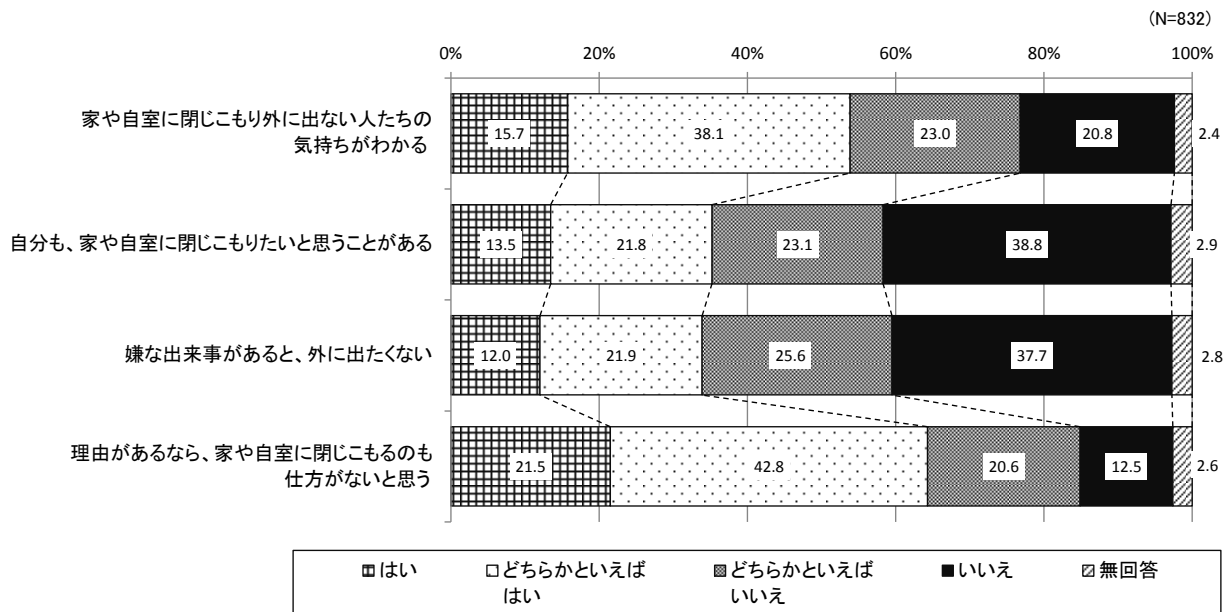
(10) 外出の頻度が少なくなった理由（問8-2）

(8) で(e) (f) (g) (h)と回答した人に、外出の頻度が少なくなった理由を尋ねたところ、「その他」以外では「病気」が22.6%で最も高く、次いで「就職活動不調」19.4%、「職場不適應」12.9%となっている。



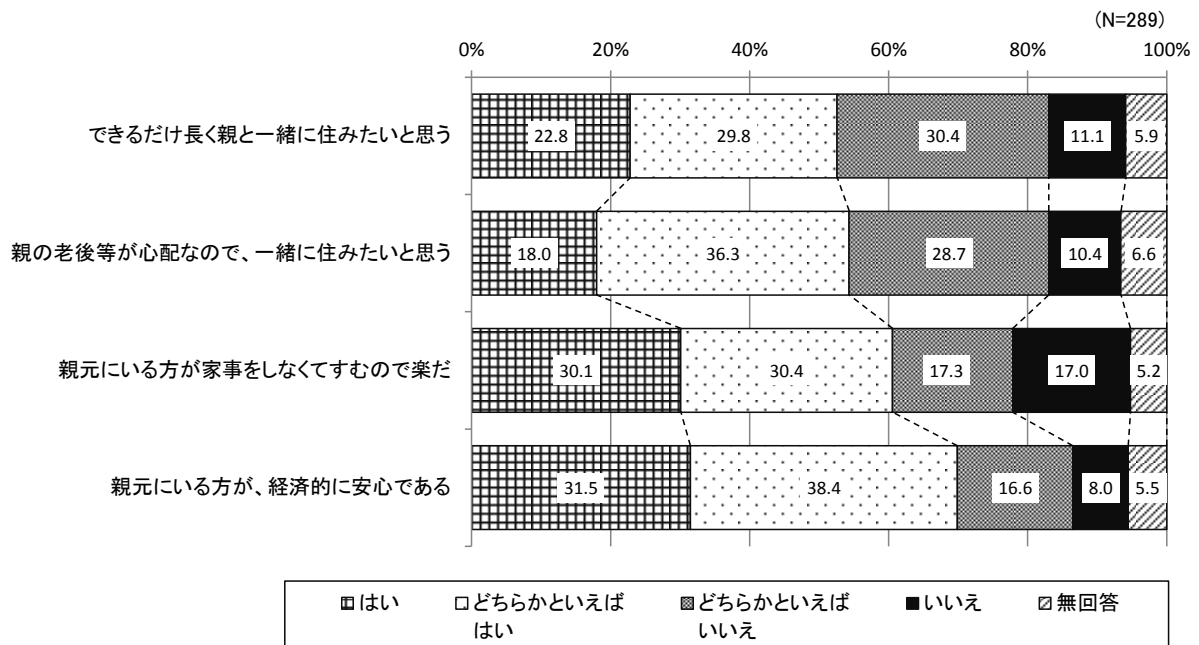
(11) ひきこもりに対する気持ち (問9)

ひきこもりに対する気持ちを尋ねたところ、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた比率が、「家や自室に閉じこもり外に出ない人たちの気持ちがわかる」は5割、「理由があるなら、家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う」は6割を超えている。



(12) 親との同居に対する気持ち (問10)

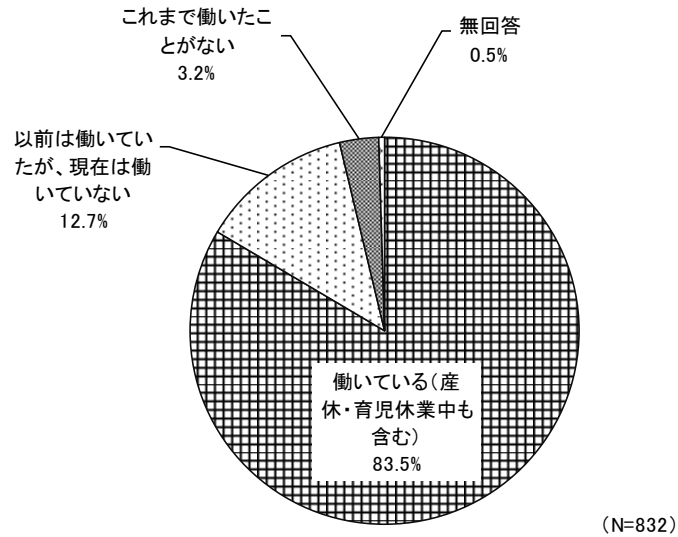
親との同居に対する気持ちを尋ねたところ、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた比率が、全ての項目で5割を超えている。特に、「親元にいる方が、経済的に安心である」は7割弱となっている。



3. 就労状況について

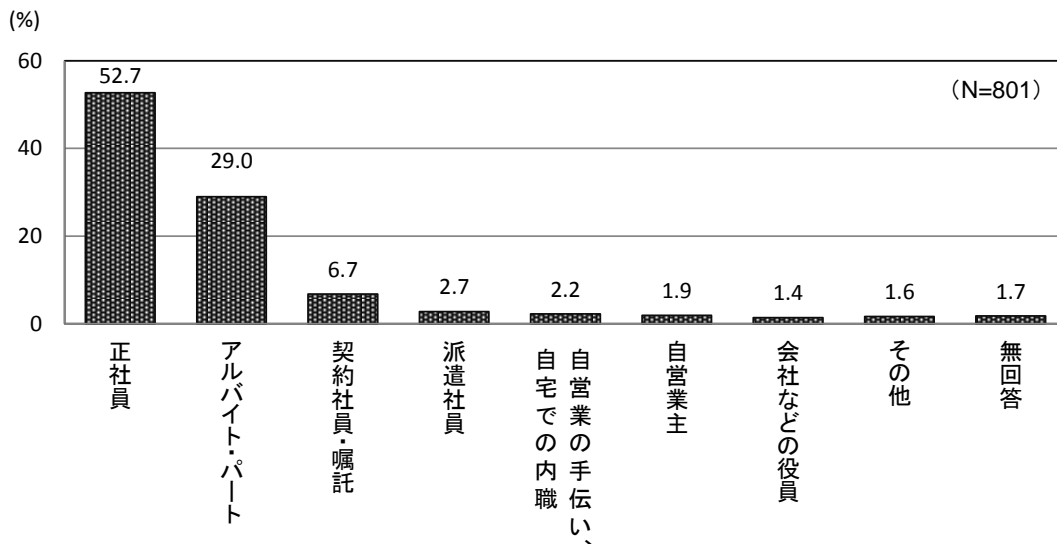
(13) 現在の就労状況（問 11）

就労状況は、「働いている（産休・育児休業中も含む）」が 83.5%で最も高く、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」12.7%、「これまで働いたことがない」3.2%となっている。



(14) 就労形態（問 11-1）

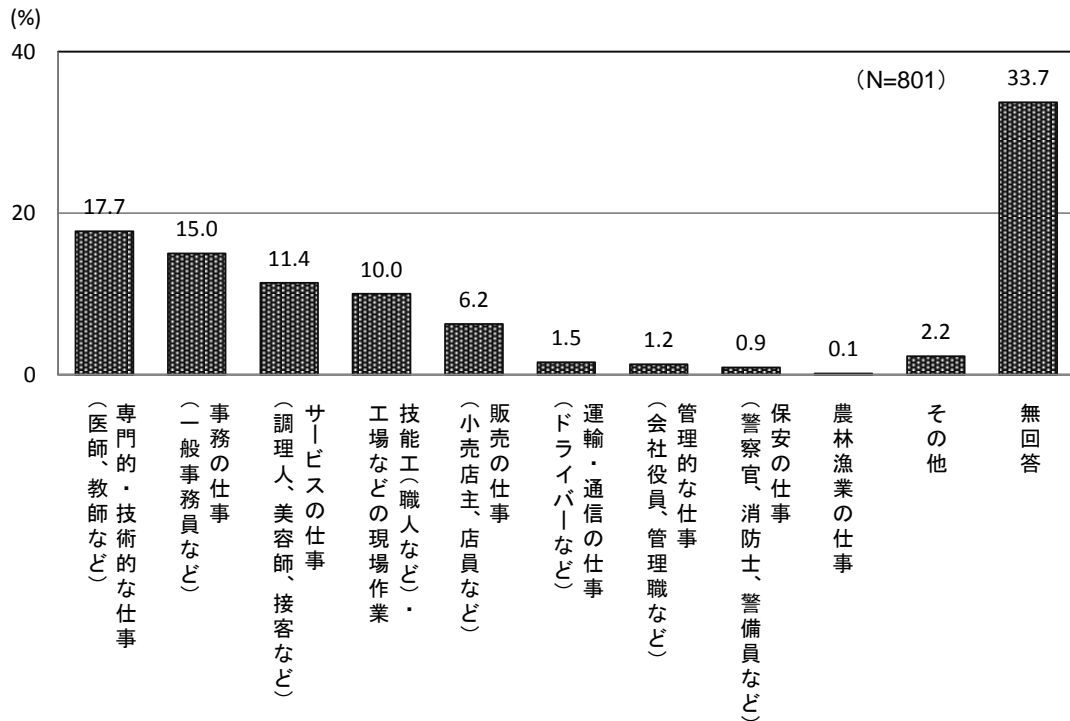
就労形態は、「正社員」が 52.7%で最も高く、次いで「アルバイト・パート」29.0%、「契約社員・嘱託」6.7%となっている。



【18歳以上40歳未満の男女】

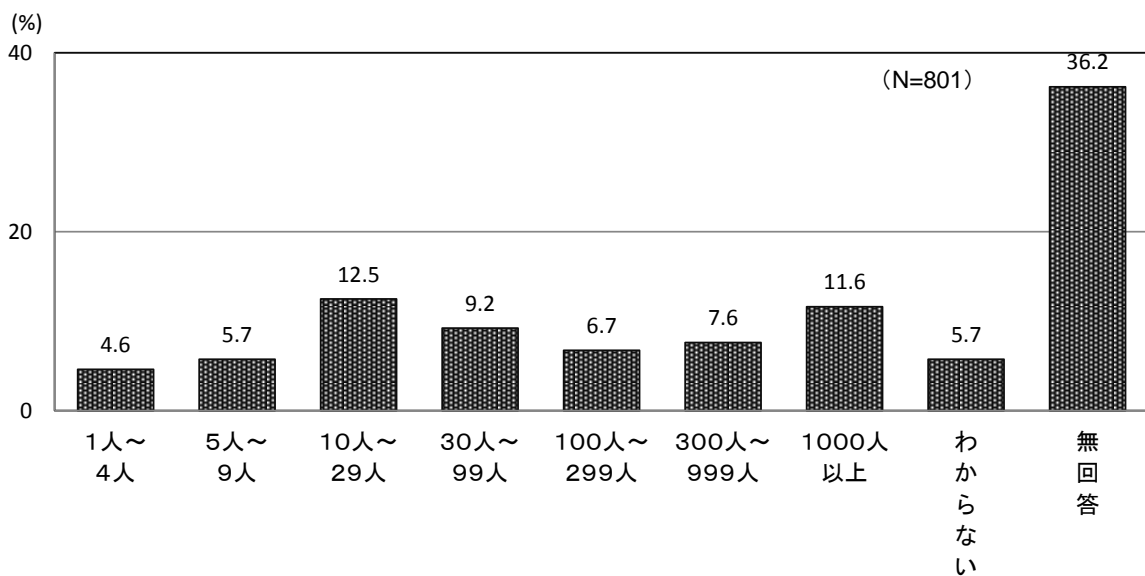
(15) 就労先での職種（問 11-2）

就労先での職種は、「専門的・技術的な仕事（医師、教師など）」が17.7%で最も高く、次いで「事務の仕事（一般事務員など）」15.0%、「サービスの仕事（調理人、美容師、接客など）」11.4%となっている。



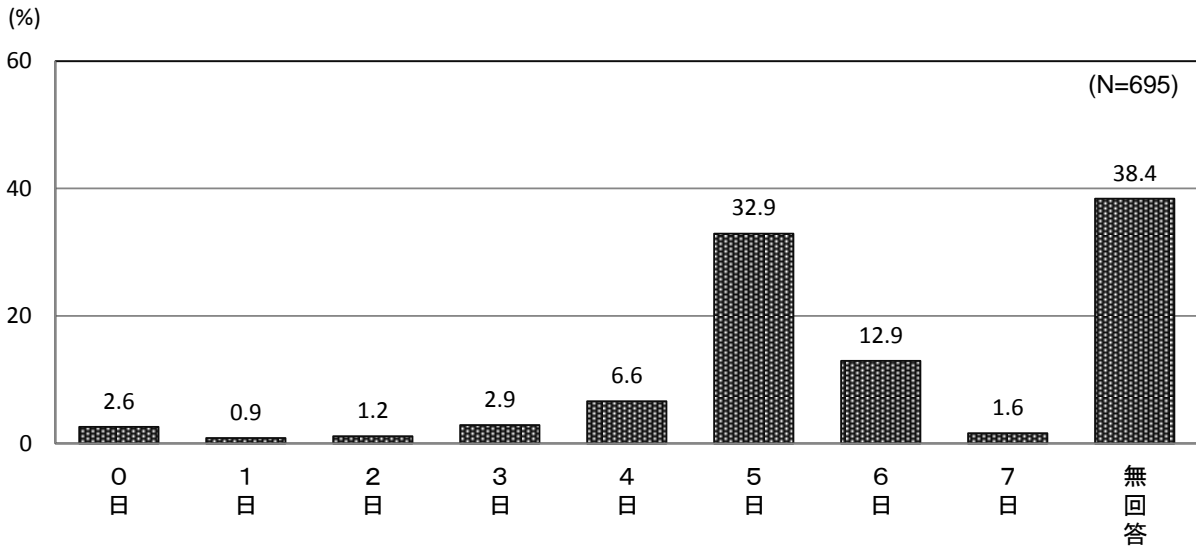
(16) 就労先の従業員規模（問 11-3）

就労先の従業員規模は、「10人～29人」が12.5%で最も高く、次いで「1000人以上」11.6%、「30人～99人」9.2%となっている。



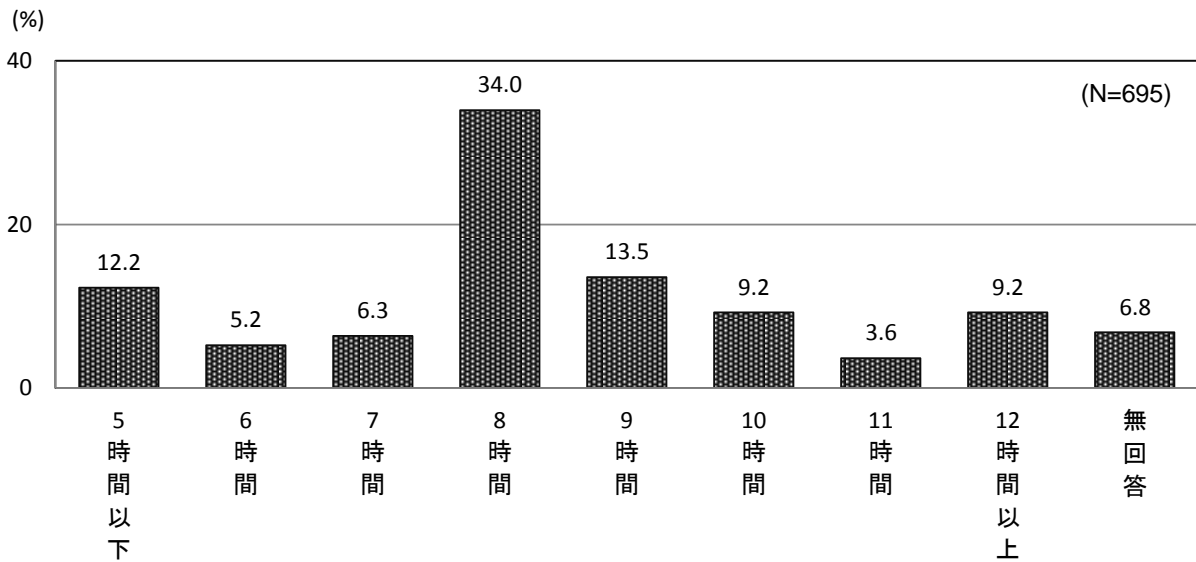
(17) 1週当たりの就労日数 (問 11-4)

1週当たりの就労日数は、「5日」が32.9%で最も高く、次いで「6日」12.9%、「4日」6.6%となっている。



(18) 1日当たりの就労時間 (残業時間を含む) (問 11-5)

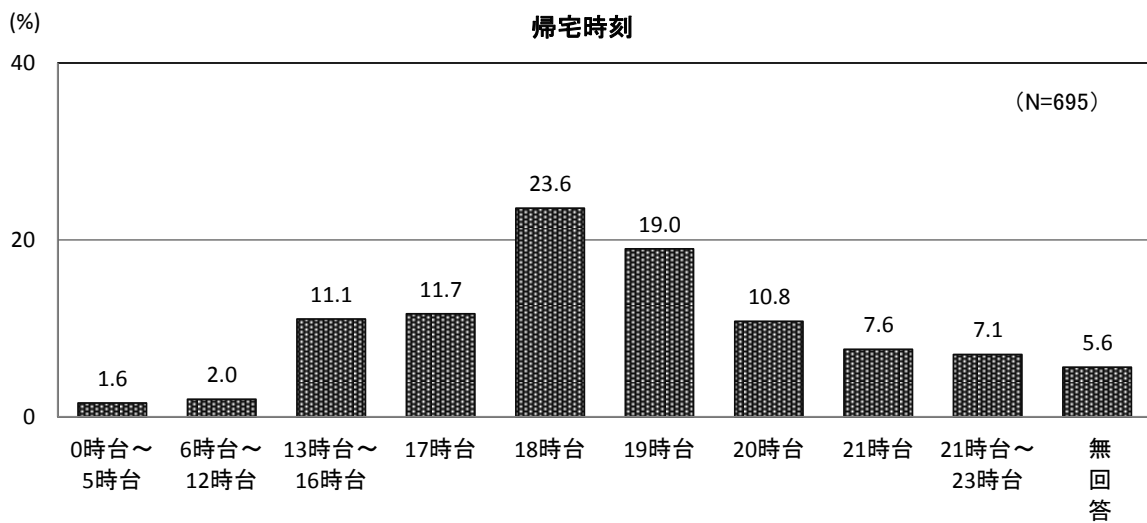
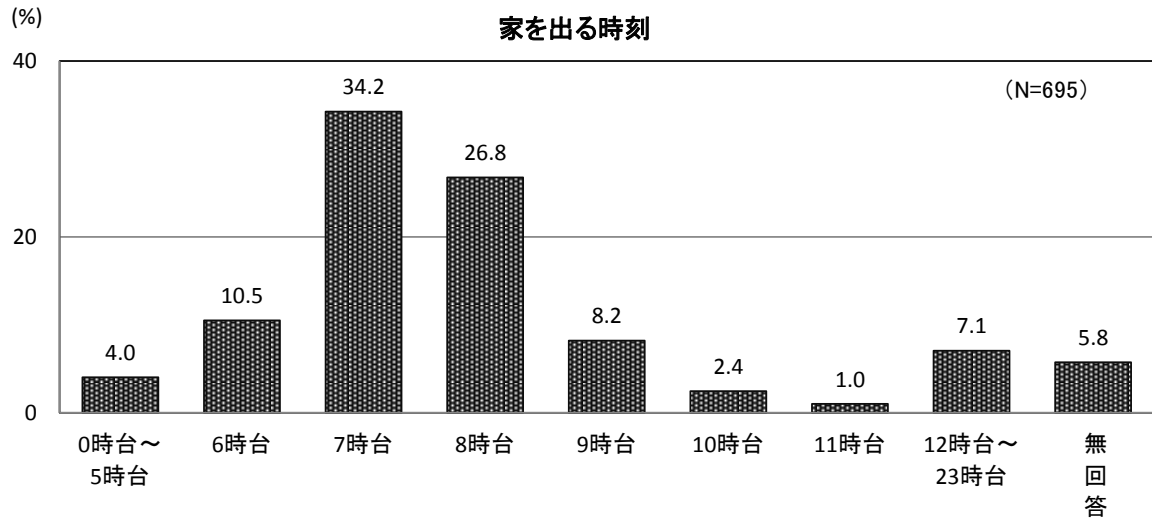
1日当たりの就労時間 (残業時間を含む) は、「8時間」が34.0%で最も高く、次いで「9時間」13.5%、「5時間以下」12.2%となっている。



(19) 家を出る時刻と帰宅時刻（問 11-5）

家を出る時刻は、「7時台」が34.2%で最も高く、次いで「8時台」26.8%、「6時台」10.5%となっている。

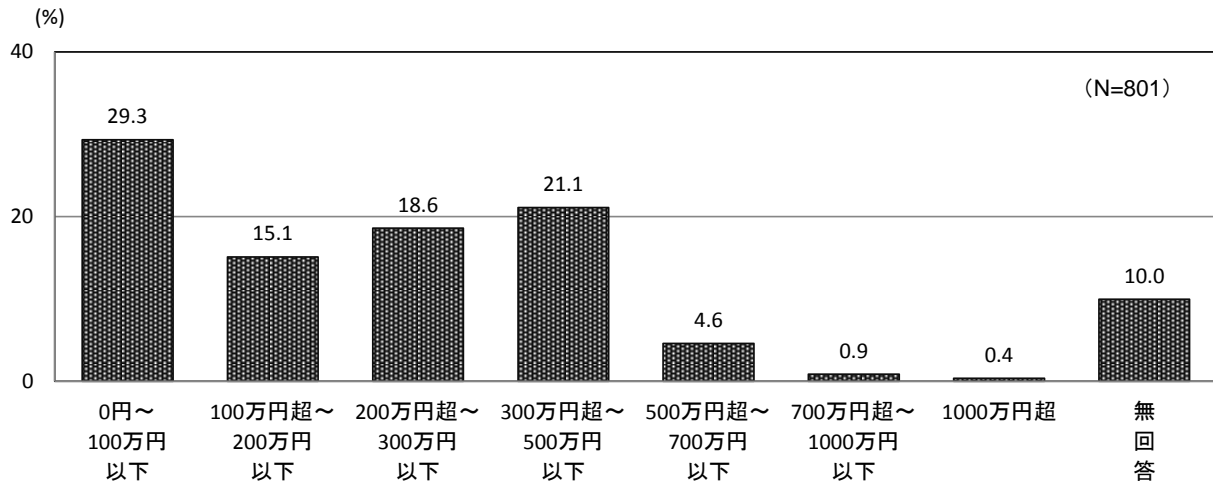
帰宅時刻は、「18時台」が23.6%で最も高く、次いで「19時台」19.0%、「17時台」11.7%となっている。



(20) 年収 (問 12)

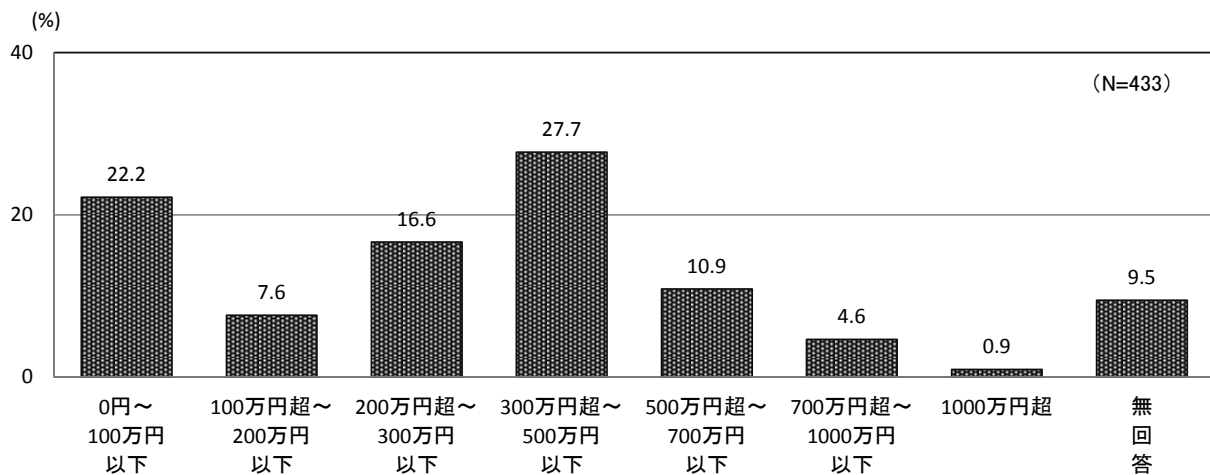
① 回答者の年収

回答者の年収は、「0円～100万円以下」が29.3%で最も高く、次いで「300万円超～500万円以下」21.1%、「200万円超～300万円以下」18.6%となっている。



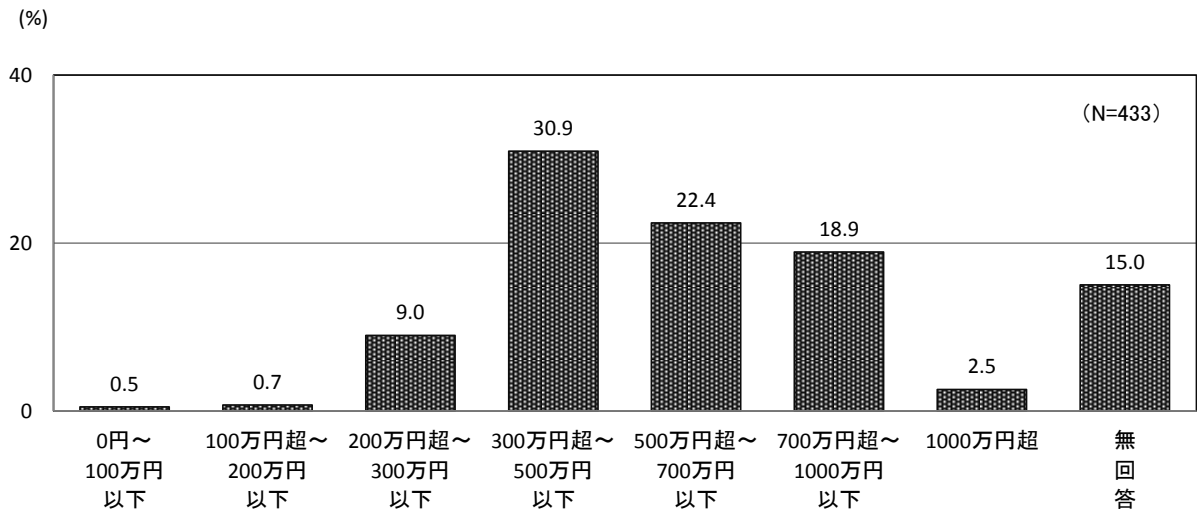
② 配偶者の年収

配偶者の年収は、「300万円超～500万円以下」が27.7%で最も高く、次いで「0円～100万円以下」22.2%、「200万円超～300万円以下」16.6%となっている。



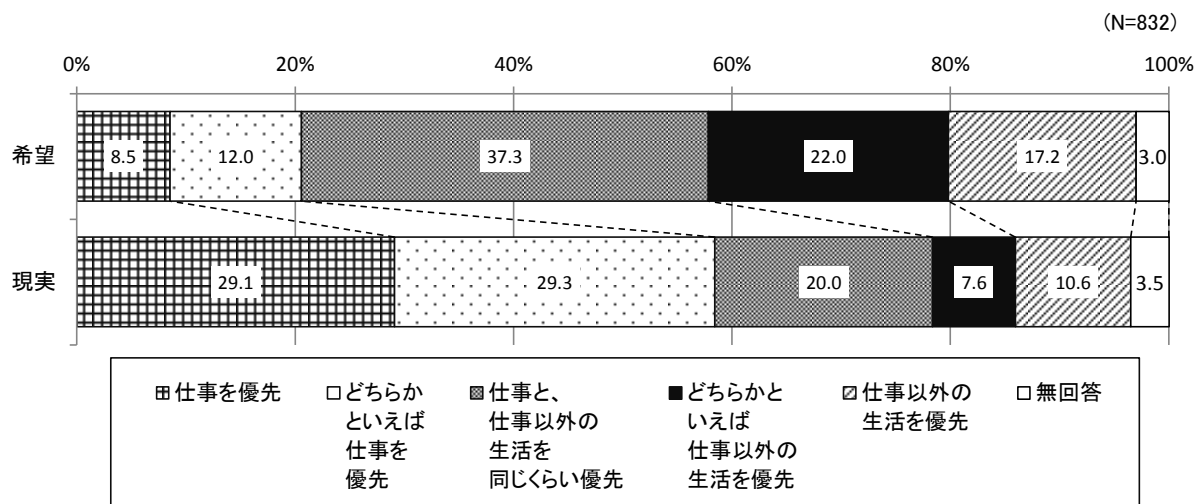
③ 夫婦の年収

回答者と配偶者の年収を合算すると、「300万円超～500万円以下」が30.9%で最も高く、次いで「500万円超～700万円以下」22.4%、「700万円超～1000万円以下」18.9%となっている。



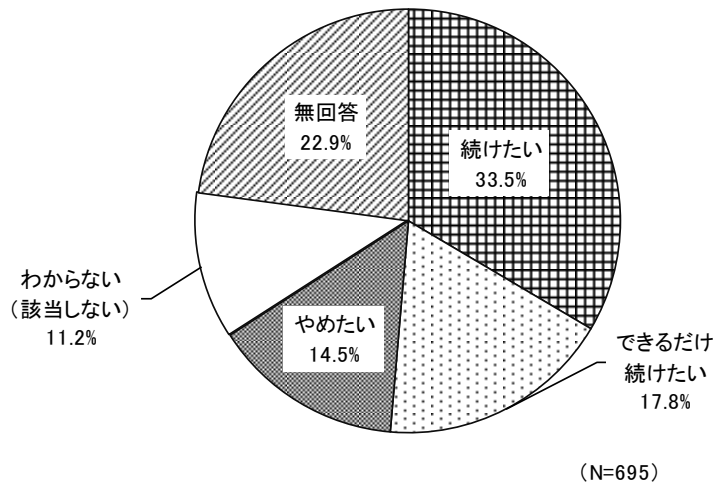
(21) 仕事と仕事以外の生活（家事・育児、趣味やボランティア活動など）の優先度（問13）

仕事と仕事以外の生活の優先度について尋ねたところ、希望は、「仕事と、仕事以外の生活を同じくらい優先」が37.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば仕事以外の生活を優先」22.0%、「仕事以外の生活を優先」17.2%となっている。現実には、「どちらかといえば仕事を優先」が29.3%で最も高く、次いで「仕事を優先」29.1%、「仕事と、仕事以外の生活を同じくらい優先」20.0%となっている。



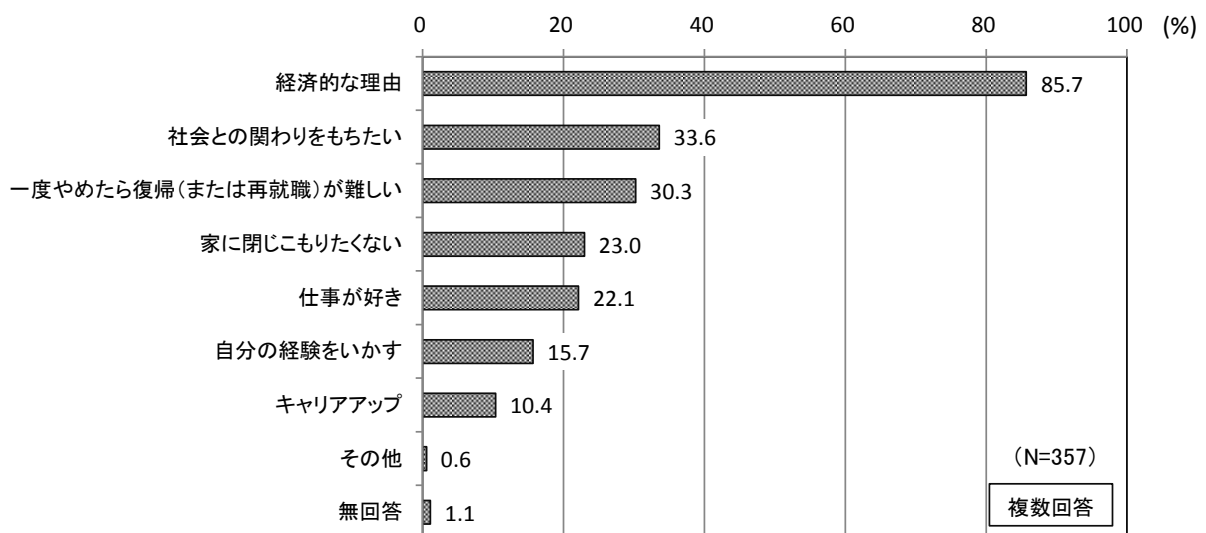
(22) 子どもができた（増えた）場合の就労意向（問14）

(13)で「働いている」と回答した人に、子どもができた（増えた）場合の就労意向を尋ねたところ、「続けたい」が33.5%で最も高く、次いで「できるだけ続けたい」17.8%、「やめたい」14.5%となっている。



(23) 子育てしながら仕事を続ける理由（問14-1）

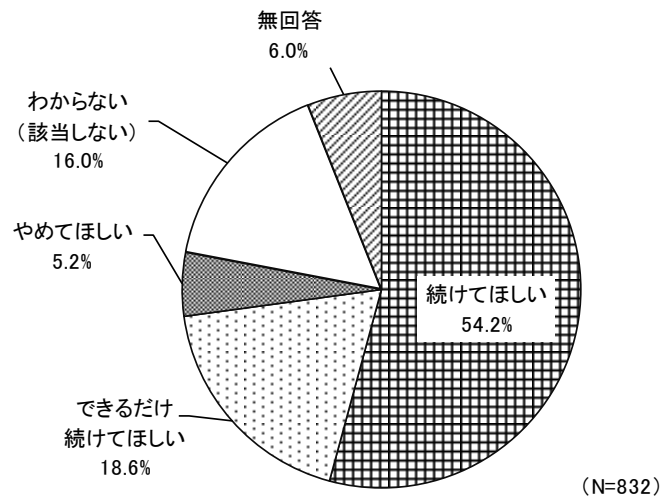
(22)で「続けたい」または「できるだけ続けたい」を回答した人に、その理由を尋ねたところ、「経済的な理由」が85.7%で最も高く、次いで「社会との関わりをもちたい」33.6%、「一度やめたら復帰(または再就職)が難しい」30.3%となっている。



【18歳以上40歳未満の男女】

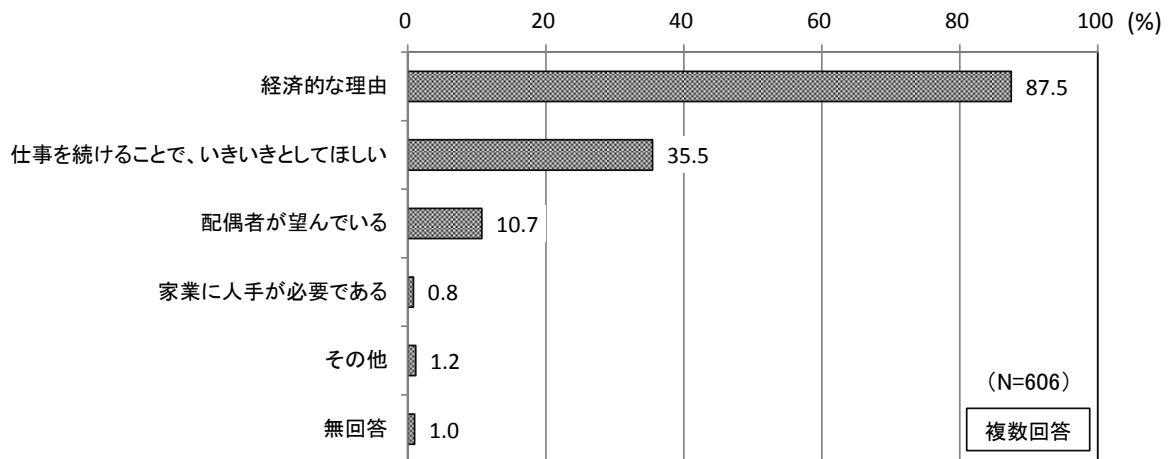
(24) 子どもができた（増えた）場合の配偶者への就労希望（問15）

子どもができた（増えた）場合の配偶者の就労希望は、「続けてほしい」が54.2%で最も高く、次いで、「できるだけ続けてほしい」18.6%、「わからない（該当しない）」16.0%となっている。



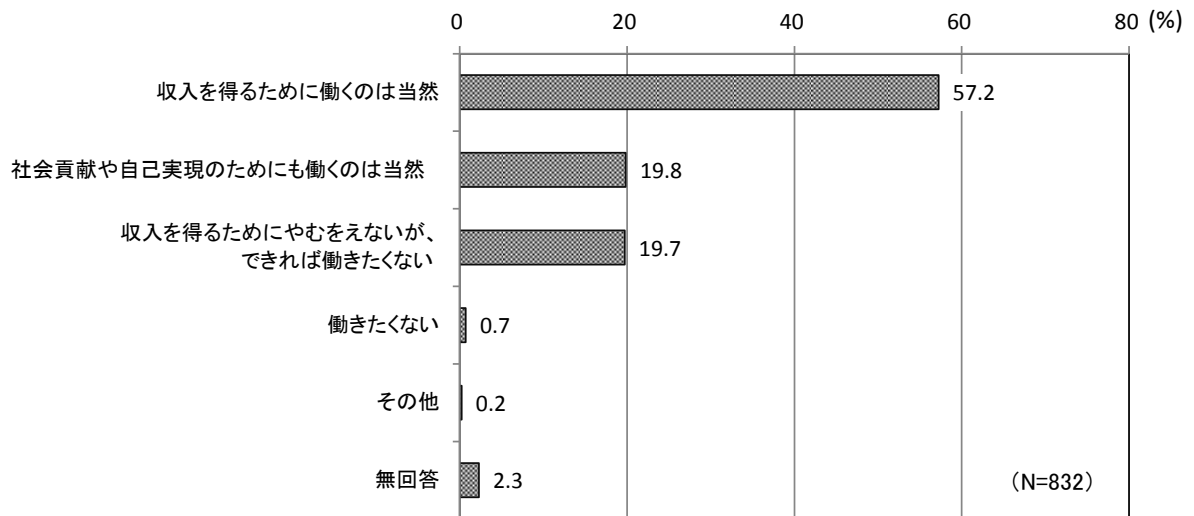
(25) 子育てしながら配偶者に仕事を続けてほしい理由（問15-1）

(24)で「続けてほしい」または「できるだけ続けてほしい」を回答した人に、仕事を続けてもらいたい理由を尋ねたところ、経済的な理由が87.5%で最も高く、次いで「仕事を続けることで、いきいきとしてほしい」35.5%、「配偶者が望んでいる」10.7%となっている。



(26) 働くことに対する考え (問16)

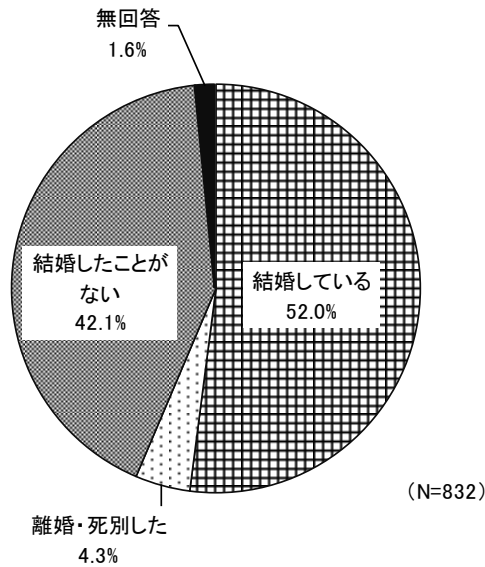
働くことに対する考えを尋ねたところ、「収入を得るために働くのは当然」が57.2%で最も高く、次いで「社会貢献や自己実現のためにも働くのは当然」19.8%、「収入を得るためにやむをえないが、できれば働きたくない」19.7%となっている。



4. 結婚や家庭のことについて

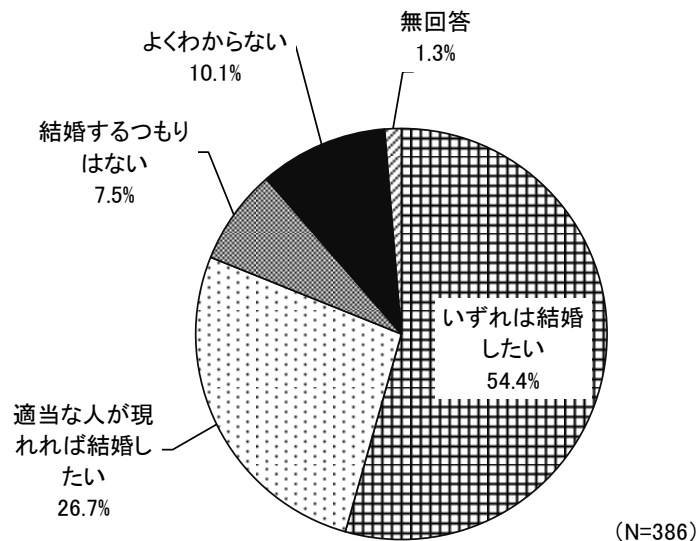
(27) 結婚しているか (問 17)

現在、結婚（事実婚も含む）しているか尋ねたところ、「結婚している」が 52.0%で最も多く、次いで「結婚したことがない」42.1%、「離婚・死別した」4.3%となっている。



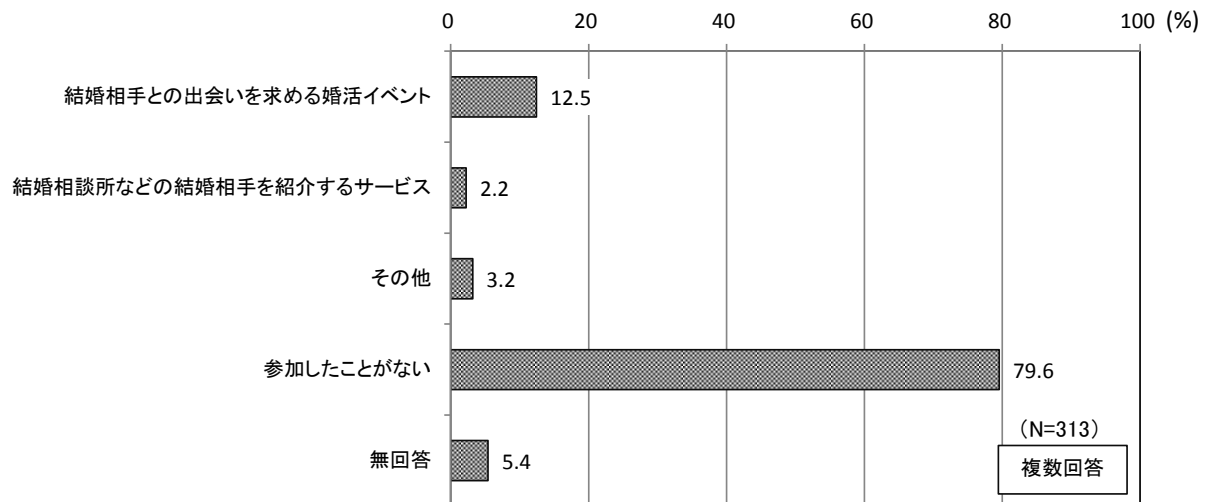
(28) 結婚に対する考え (問 17-1)

(27) で「離婚・死別した」または「結婚したことがない」と回答した人に結婚観を尋ねたところ、「いずれは結婚したい」が 54.4%で最も高く、次いで「適当な人が現れれば結婚したい」26.7%、「よくわからない」10.1%、「結婚するつもりはない」7.5%となっている。



(29) 婚活への参加状況 (問 17-2)

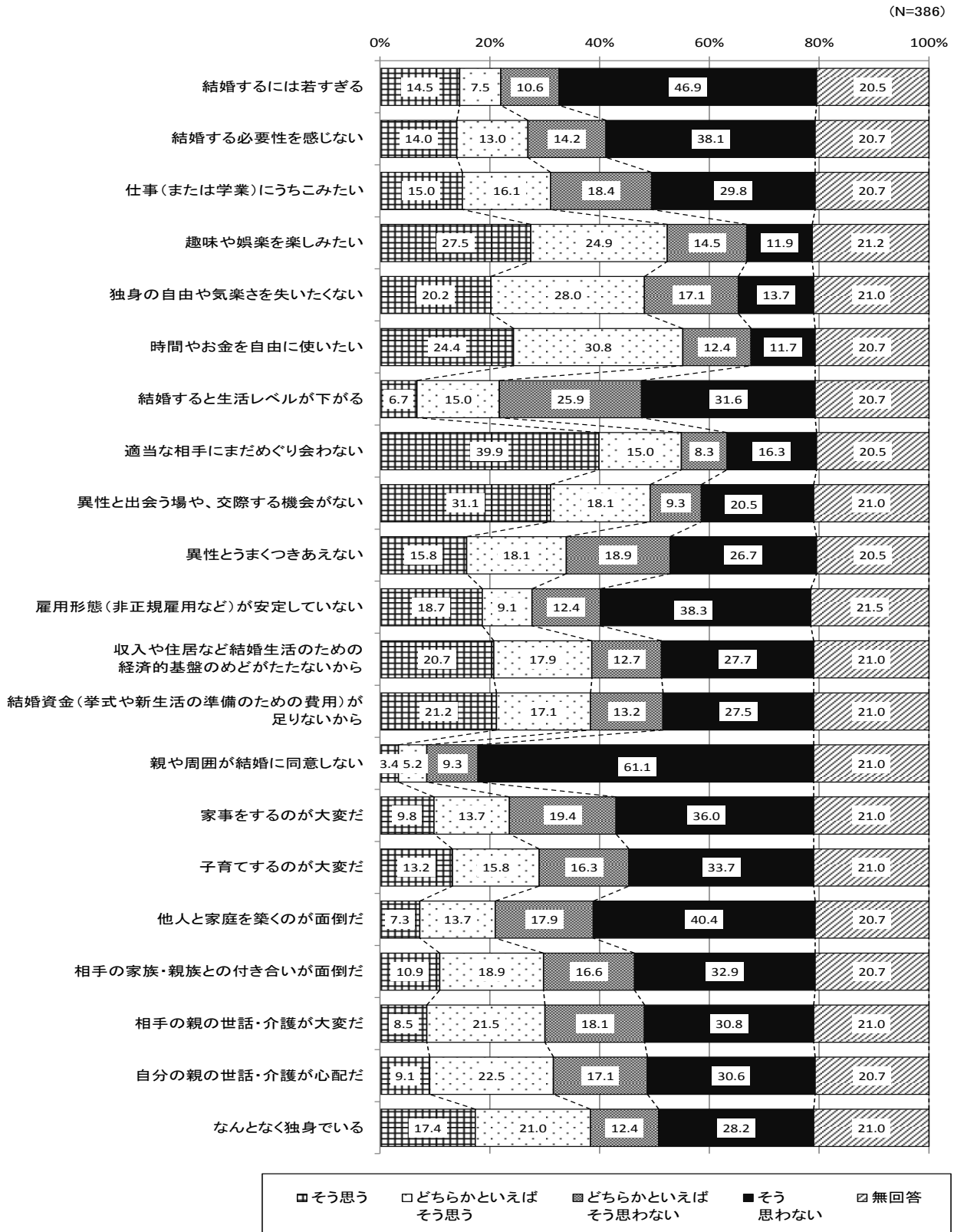
(28) で「いずれは結婚したい」または「適当な人が現れれば結婚したい」と回答した人に婚活への参加について尋ねたところ、「参加したことがない」が 79.6%で圧倒的に高く、次いで「結婚相手との出会いを求める婚活イベント」12.5%、「結婚相談所などの結婚相手を紹介するサービス」2.2%となっている。



(30) 独身でいる理由 (問 17-3)

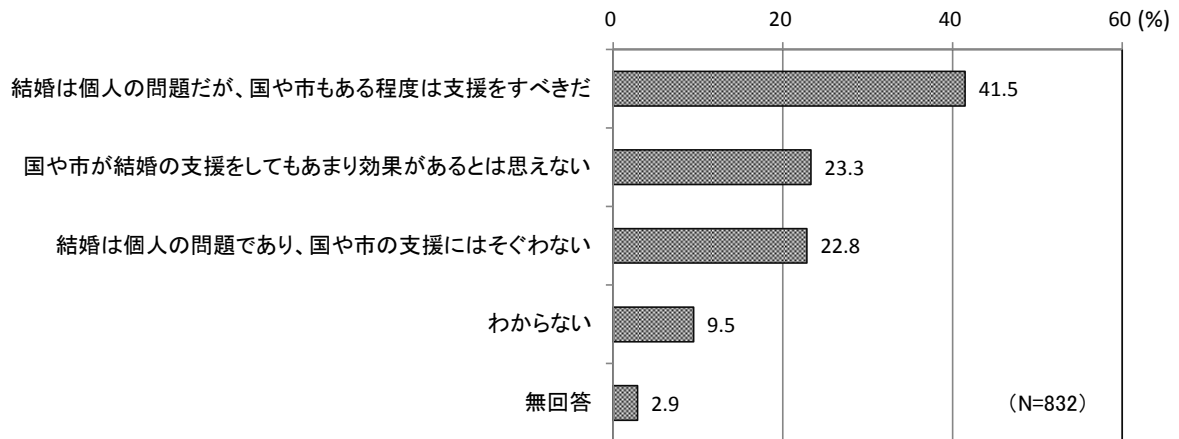
(27) で「離婚・死別した」または「結婚したことがない」と回答した人に独身でいる理由を尋ねたところ、「そう思う」では「適当な相手にまだめぐり会わない」が 39.9%で最も高く、次いで「異性と出会う場や、交際する機会がない」31.1%となっており、これらは3割以上となっている。

「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた比率では、「時間やお金を自由に使いたい」が 55.2%で最も高く、「適当な相手にまだめぐり会わない」54.9%、「趣味や娯楽を楽しみたい」52.4%となっている。



(31) 結婚に対する国や市の支援について (問18)

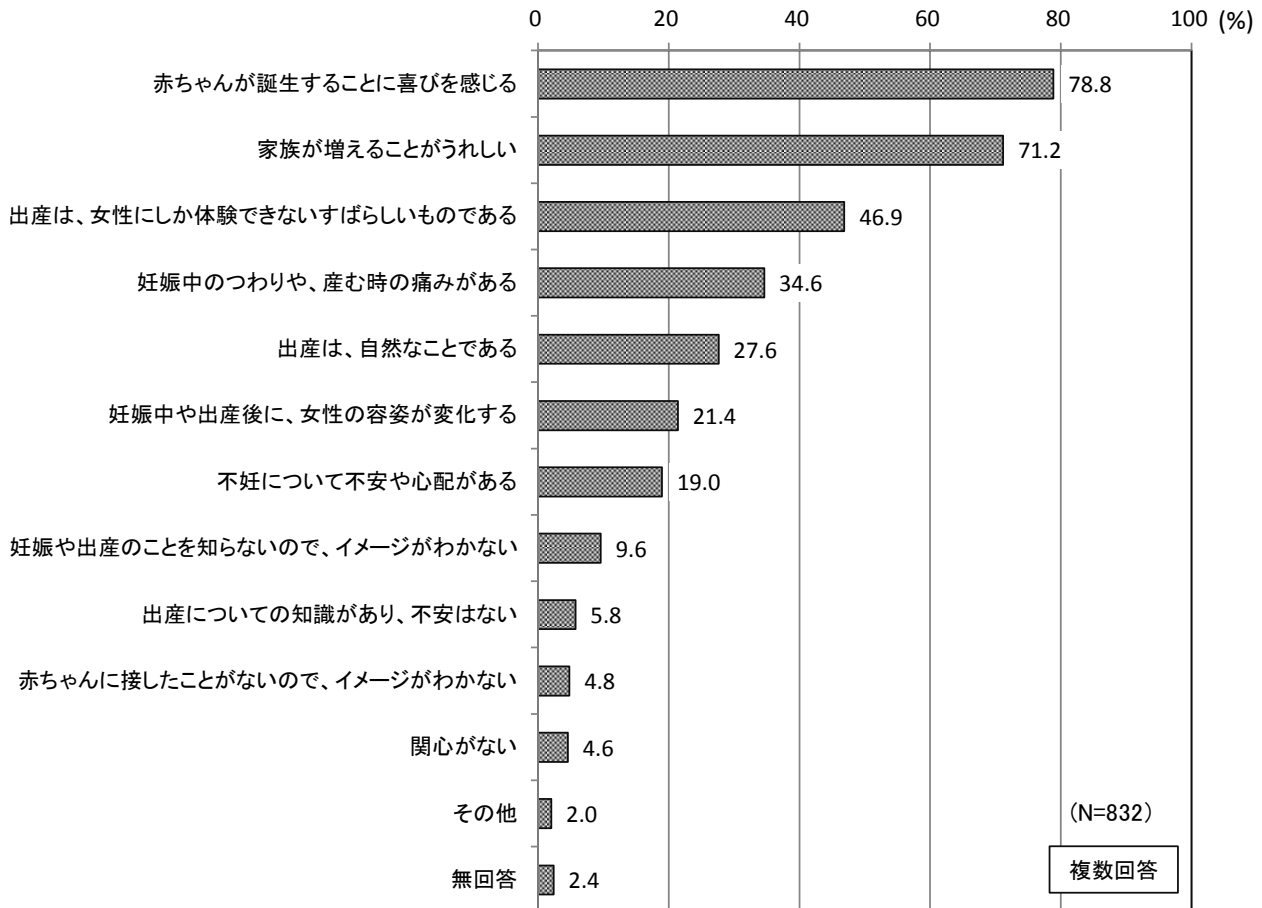
結婚に対する国や市の支援について尋ねたところ、「結婚は個人の問題だが、国や市もある程度は支援をすべきだ」が41.5%で最も高く、次いで「国や市が結婚の支援をしてもあまり効果があるとは思えない」23.3%、「結婚は個人の問題であり、国や市の支援にはそぐわない」22.8%となっている。



5. 出産や子育てについて

(32) 出産に対する考え (問 19)

出産に対する考えについて尋ねたところ、「赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる」が78.8%で最も高く、次いで「家族が増えることがうれしい」71.2%と続き、この2つが特に高い割合を占めている。



＜男女別、既婚・未婚別、子どもの人数別＞

男女別に見ると、「出産は、女性にしか体験できないすばらしいものである」「妊娠中のつわりや、産む時の痛みがある」の割合は、女性のほうが高くなっている。

また、「赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる」や「家族が増えることがうれしい」は、男女ともに、未婚者より既婚者の方が、高い割合になっている。

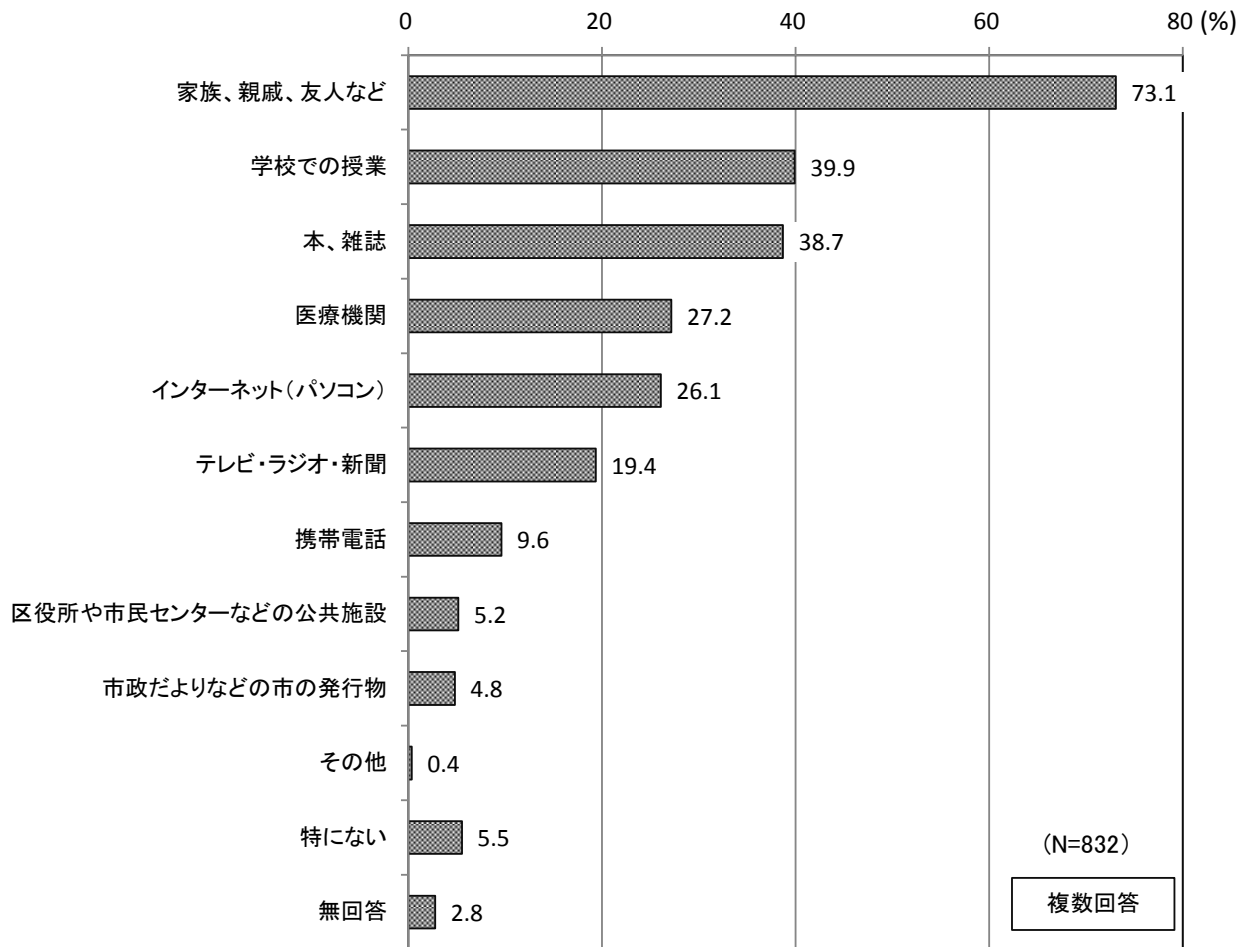
		複数回答 (%)														
		サンプル数 (件)	赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる	家族が増えることがうれしい	出産は、女性にしか体験できないすばらしいものである	出産は、自然なことである	出産についての知識があり、不安はない	不妊について不安や心配がある	妊娠中のつわりや、産む時の痛みがある	妊娠中や出産後に、女性の容姿が変化する	妊娠や出産のことを知らない	妊娠や出産のイメージがわからない	赤ちゃんに接したことがない	関心がない	その他	無回答
全体		832	656 78.8	592 71.2	390 46.9	230 27.6	48 5.8	158 19.0	288 34.6	178 21.4	80 9.6	40 4.8	38 4.6	17 2.0	20 2.4	
結婚しているか	男性	結婚している	155	84.5	82.6	36.8	25.8	5.2	16.1	15.5	14.8	3.2	1.3	0.6	1.3	0.6
		離婚・死別した	12	83.3	75.0	33.3	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	女性	結婚している	145	64.8	63.4	28.3	26.9	2.8	9.7	6.2	8.3	16.6	10.3	13.8	0.7	2.8
		離婚・死別した	275	87.3	74.5	57.1	27.3	9.1	19.6	56.4	30.9	3.6	4.4	1.8	2.9	1.1
子どもの数	男性	1人	24	79.2	54.2	54.2	29.2	12.5	12.5	50.0	37.5	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0
		2人	201	74.6	66.7	55.7	30.8	3.5	29.4	41.3	22.4	19.4	5.0	4.5	3.0	3.0
		3人	50	86.0	82.0	44.0	28.0	8.0	24.0	20.0	16.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0
		4人	67	88.1	85.1	41.8	29.9	3.0	6.0	13.4	17.9	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0
		5人以上	20	90.0	80.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0人	3	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	1人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	166	66.3	66.9	28.3	25.3	3.0	15.1	8.4	9.0	15.7	9.0	12.0	1.2	1.2
		3人	99	90.9	72.7	56.6	21.2	8.1	17.2	59.6	40.4	4.0	4.0	1.0	3.0	0.0
		4人	96	90.6	83.3	60.4	36.5	12.5	11.5	58.3	26.0	1.0	3.1	1.0	3.1	0.0
		5人以上	45	88.9	71.1	64.4	42.2	17.8	4.4	64.4	35.6	11.1	8.9	0.0	0.0	0.0
		0人	4	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		2	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全体		245	76.3	66.9	55.5	29.0	2.9	34.7	42.0	23.3	15.9	4.9	5.3	3.3	0.4	

※ 全体の上段は実数、下段は比率。

【18歳以上40歳未満の男女】

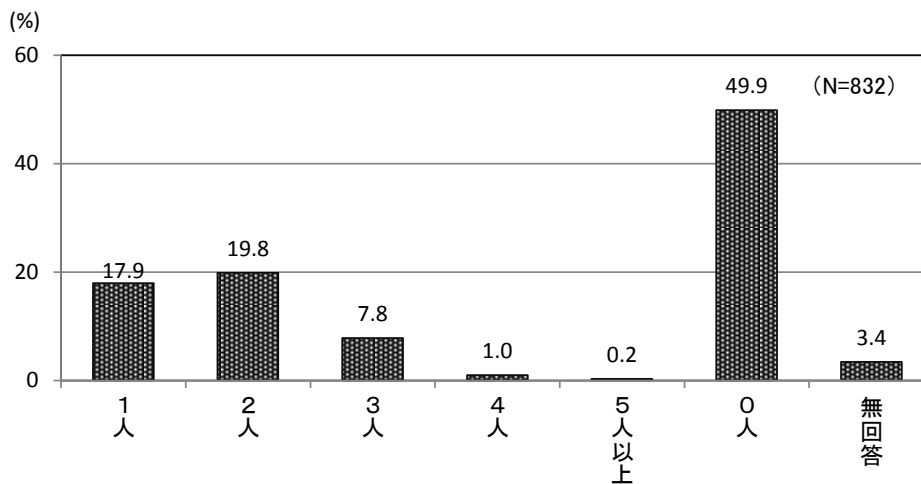
(33) 妊娠や出産に関する知識の入手先（問 20）

妊娠や出産に関する知識の入手先は、「家族、親戚、友人など」が 73.1%で特に高い割合を占めている。次いで「学校での授業」39.9%、「本、雑誌」38.7%となっている。



(34) 子どもの人数（問 21）

子どもの人数は、「0人」が 49.9%と最も高く、次いで「2人」19.8%、「1人」17.9%となっている。



<男女別・勤労形態別>

男女別・勤労形態別に見ると、男性は「アルバイト・パート」で子どもの数が「0人」の割合が高くなっている。

		サンプル数	自営業主	会社などの役員	内職 自営業の手伝い、自宅での	正社員	アルバイト・パート	派遣社員	契約社員・嘱託	その他	無回答	
全体		801	15	11	18	422	232	22	54	13	14	
		-	1.9	1.4	2.2	52.7	29.0	2.7	6.7	1.6	1.7	
子どもの数	男性	1人	50	4.0	2.0	4.0	82.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0
		2人	67	6.0	4.5	0.0	85.1	3.0	0.0	0.0	1.5	0.0
		3人	20	5.0	10.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
		4人	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		5人以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		0人	149	2.0	2.0	3.4	59.1	24.2	1.3	3.4	2.7	2.0
	女性	1人	97	0.0	0.0	4.1	41.2	37.1	3.1	11.3	1.0	2.1
		2人	96	0.0	1.0	4.2	32.3	41.7	5.2	12.5	2.1	1.0
		3人	45	2.2	2.2	4.4	26.7	51.1	4.4	6.7	0.0	2.2
		4人	4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		5人以上	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0人	237	1.3	0.0	0.4	50.6	34.6	4.2	7.6	0.8	0.4

※ 全体の上段は実数、下段は比率。

<夫婦の年収別>

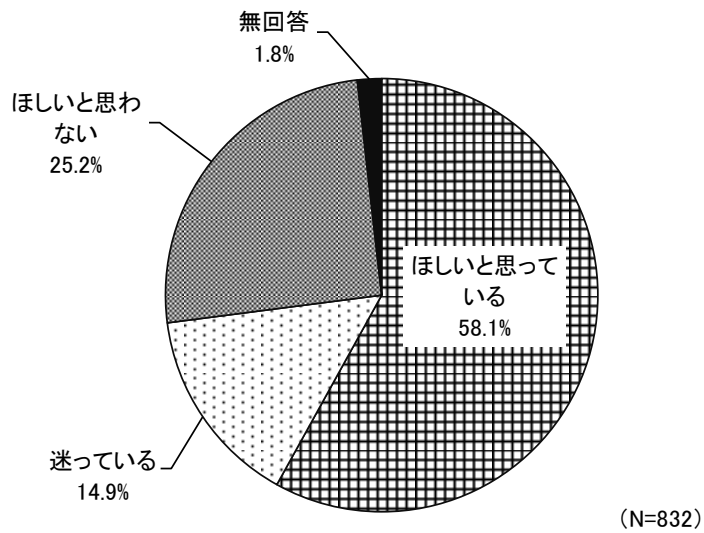
夫婦の年収別に見ると、「700万円超～1000万円以下」と「1000万円超」で子どもの数が「0人」の割合が高くなっている。

		サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人以上	0人	無回答
全体		832	149	165	65	8	2	415	28
		-	17.9	19.8	7.8	1.0	0.2	49.9	3.4
夫婦の年収	0円～100万円以下	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	100万円超～200万円以下	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	200万円超～300万円以下	39	30.8	35.9	17.9	0.0	0.0	10.3	5.1
	300万円超～500万円以下	134	30.6	39.6	12.7	2.2	0.7	14.2	0.0
	500万円超～700万円以下	97	33.0	33.0	16.5	2.1	1.0	13.4	1.0
	700万円超～1000万円以下	82	15.9	35.4	13.4	1.2	0.0	32.9	1.2
	1000万円超	11	36.4	27.3	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0

【18歳以上40歳未満の男女】

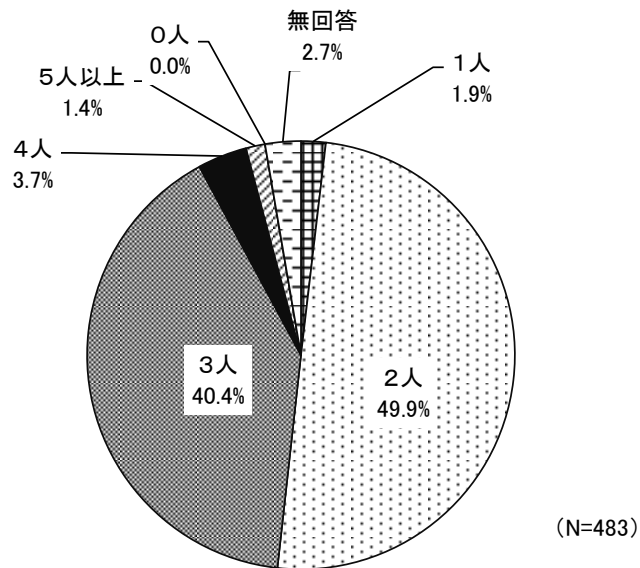
(35) 今後、子どもをほしいと思うか (問 22)

子どもをほしいと思うか尋ねたところ、「ほしいと思っている」が 58.1%で最も高く、次いで「ほしいと思わない」25.2%、「迷っている」14.9%となっている。



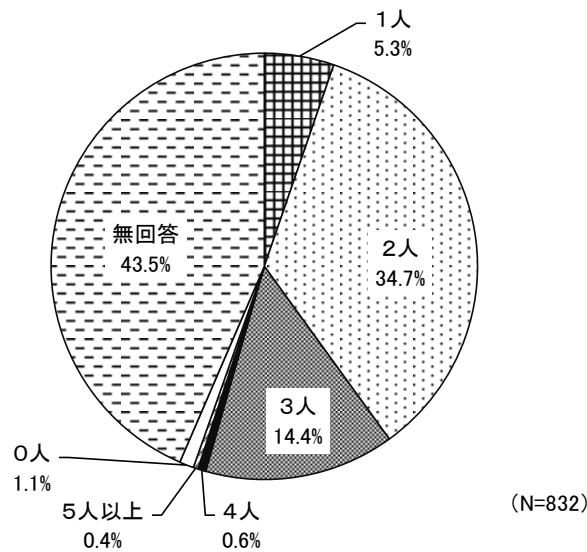
(36) 理想的な子どもの人数 (問 22-1)

理想的な子どもの人数は、「2人」が 49.9%で最も高く、次いで「3人」40.4%、「4人」3.7%となっている。



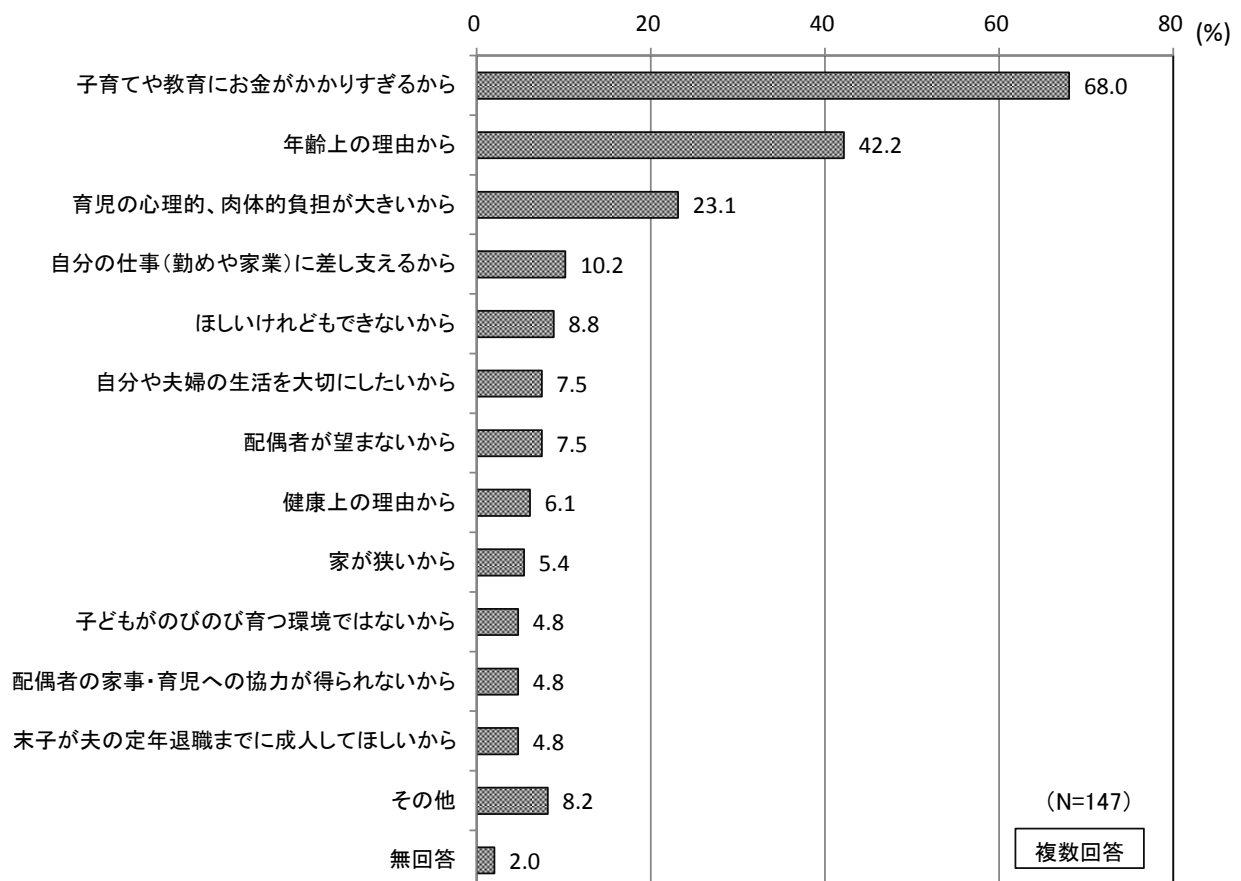
(37) 実際に持つつもりの子どもの人数 (問 22-2)

実際に持つつもりの子どもの人数は、「2人」が 34.7%で最も高く、次いで「3人」14.4%、「1人」5.3%となっている。



(38) 理想的な子どもの人数より、実際に持つつもりの子どもの人数が少ない理由 (問 22-3)

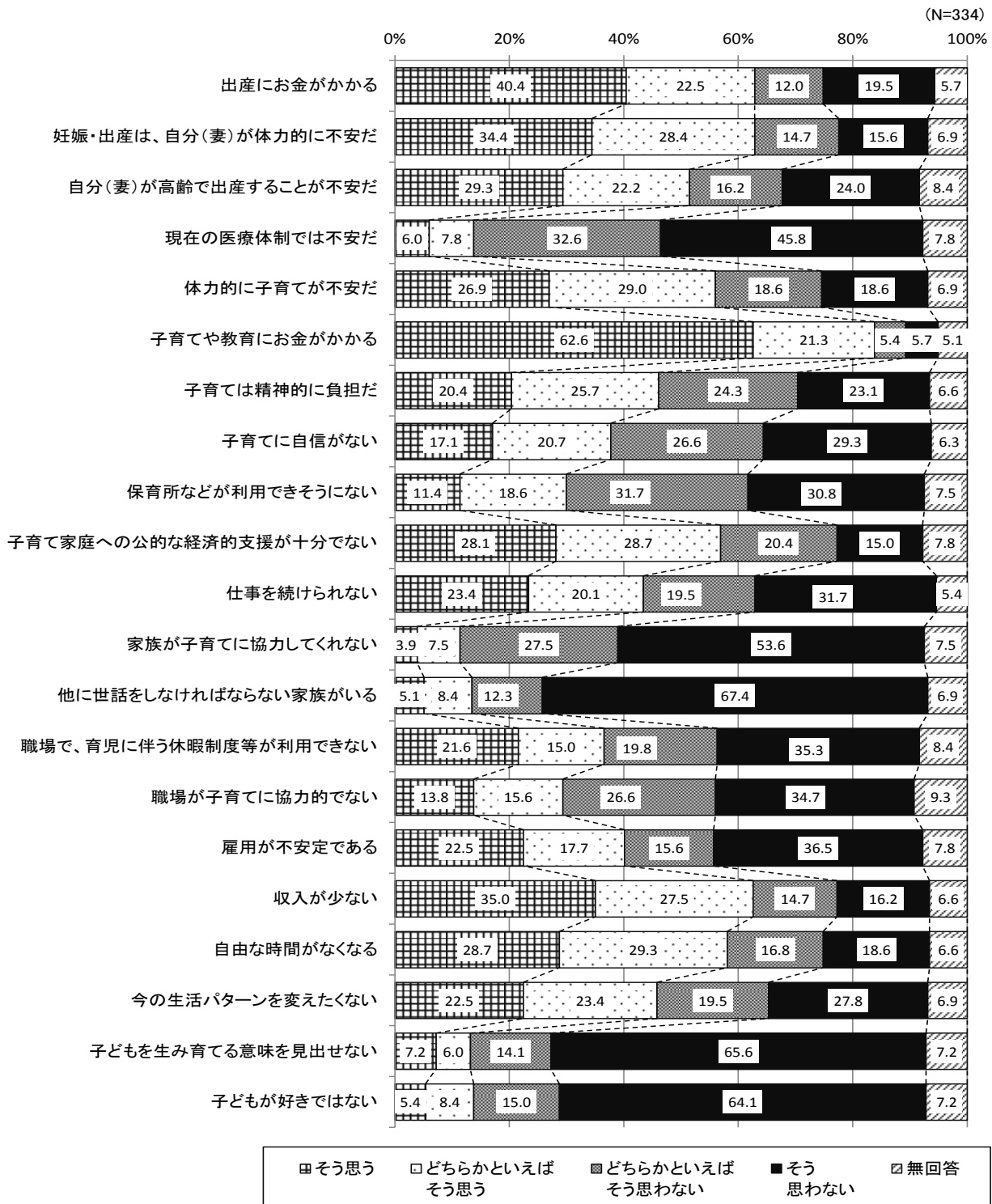
(36) (37) で理想的な子どもの人数より、実際に持つつもりの子どもの人数を少なく回答した人にその理由を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 68.0%で最も高く、次いで「年齢上の理由から」42.2%、「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」23.1%となっている。



(39) 子どもをほしいと思わない理由（問22-4）

(35) で子どもをほしいかで「迷っている」または「ほしいと思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「そう思う」では「子育てや教育にお金がかかる」が62.6%で最も高く、次いで「出産にお金がかかる」40.4%、「収入が少ない」35.0%となっている。

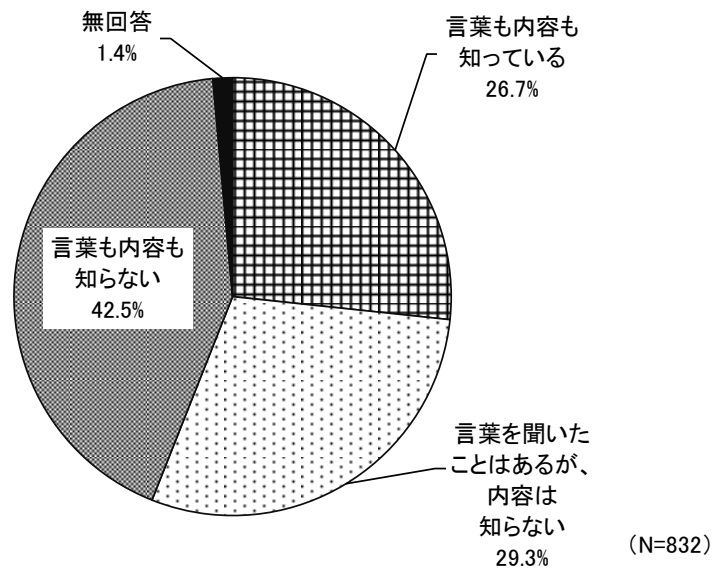
「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた比率では、「子育てや教育にお金がかかる」83.9%が特に高く、次いで「出産にお金がかかる」62.9%、「妊娠・出産は、自分（妻）が体力的に不安だ」62.8%、「収入が少ない」62.5%となっており、金銭的な問題と母体の負担を理由としている人の割合が高い。



6. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

(40) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 23）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度を尋ねたところ、「言葉も内容も知っている」と「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた比率は、56.0%と5割を超えている。一方、「言葉も内容も知らない」は42.5%となっている。



(41) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 24）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況について尋ねたところ、「調和がとれている」と「どちらかという調和がとれている」を合わせた比率は、39.7%となっている。これに対して、「どちらかという調和がとれていない」と「調和がとれていない」を合わせた比率は43.1%となっている。

